

悔しい8強 走り抜くハンド実らず

ハンドボール部 男子

本学は橋光太郎（体育学部
3年、大阪体育大学浪商高校）
が5得点を挙げたが、27-34
(前半11-15)で敗れた。
今季は西日本インカレ準決
勝で関西学院大学に敗れた。

ハンドボール部男子は11月の全日本インカレ準々決勝で敗れ、ベスト8。3大会ぶりに準決勝進出を逃した。12月の日本選手権は2回戦で敗れ、ベスト16だった。

A photograph of a person in a black tracksuit standing in front of a wall of bamboo mats (tatami) in a gymnasium. The text overlay identifies them as Tomio Tōno, a 4-year-old athlete from Kōchi High School.

100



ハンドボール部 女子

楠木監督退任、後任に上原氏 ラスト采配の日本選手権は4強

ハンドボール部女子の楠本繁生監督が1月末で退任することが決まった。最後の公式戦となつた第77回日本ハンドボール選手権大会（広島市）では、リーグ戦勢を連破し、3年連続でベスト4に進出した。

吉本氏は4強



日本 横本監督は、退任後は日本 横本氏は1987年、大阪 体育大学を卒業し、京都府立 洛北高校ではインターハイで 7回優勝。2010年、大阪 体育大学ハンドボール部女子 の監督に就任し、全日本 インカレで12連覇を含む13 回の優勝を果たす。また、

2021年秋から2024年4月のパリ五輪世界最終予選まで、女子日本代表「おりひめJAPAN」の監督を務めた。



悔しい地力活かし

5位 せず

硬式野球部男子は阪神大学
秋季リーグで春から1つ順位
を下げ、4勝6敗で5位と悔
しい結果に終わった。



阪神大学野球秋季リーグ

悔しい16強 来季こそ「泥臭く勝つ」

バスケットボール部 女子

全関西大学女子バスケットボールリーグ／全日本大学バスケットボール選手権大会

バスケットボール部女子は全日本インカレ2回戦で拓殖大学に66-83で敗れ、昨年と同じくベスト16。村上なおみ監督は「チーム全体がベスト4進出をイメージしていたが、難しい」と悔やむ。

春の全関西大学女子選手権大会は5連覇を逃がし、4位。全関西大学女子リーグは首位。それでもチームは三次真歩(みさきまほ、体育学部3年、広島皆実高校)、アイエンドウ・グレイス(体育学部3年、岡山・倉敷翠松高校)を軸に、

大会では第1クオーターで

ディフェンスを固めてオフェンスにつなぐ体の大バスケを

実現する自信を持って、インカレ挑んだ。

岡山・倉敷翠松高校を軸に、

2回戦の相手の拓殖大学は、

攻守の切り替えが速く、強力

な留学生を擁する。チームは

男たる協力をもらい、練習

で招入対策を積んだ。

試合では第1クオーター

は24-22となり。第2クオーターも19-19。シュー

トも練習通りよく決まり、出

だしほ良かった。

しかし、第3クオーターで

相手がゾーンDFで切り替え

ると、足が止まった。この策

への準備はしていたのだが、

速やかに対応できず、DFが

来季は、最終学年となる大

黒柱の3次、グレイスに加え、

ボイントガッターの大上翠奈(おねうえ・きよな、スポーツ科学部2年、広島皆実高校)

が軸となる。

また、シユーターの木谷夢菜(スポーツ科学、京都向洋高校)、今季はけがで出遅れたオヤレタ・フエバー(スポーツ科学部、未永瑠奈(スポーツ科学部2年、広島皆実高校)、大分・明豊高校)ら1年生も成長著しい。

村上監督は「技術や個々のレベルは当然上じたうえで、泥臭さをいかに練習で身につけることができるか。すべての答えは練習にある」と語り返しを語っている。

チーム成長の1年 関西3位・全国16強

バレーボール部

関西大学バレーボール秋季リーグ／全日本バレーボール大学女子選手権大会

バレーボール部女子は、9-10月の関西大学秋季リーグ1部を6勝5敗、5位で終えた。帝塚山大学に敗れ3位。11月の全日本大学女子選手権大会ではベスト16に進出。長江晃生監督は「チーム全体のレベルが底上げされ、準備してきただことが実を結んだ」と評価する。

リーグ戦では、セッタの木碧海(あお

木陽奈(こうぎ・ひな、体育

大上翠奈(スポーツ科学2年、広島皆実高

校)が中心となり、黒崎陽奈(

白田花菜(スポーツ科学2年、岡山・山陽学園)

木下碧海(スポーツ科学2年、長崎・純心女子)

須藤舞尋(教育1年、宮崎・延岡学園)

太田花菜(スポーツ科学2年、岡山・山陽学園)

黒木陽奈(体育3年、富崎・都城商業)

が決勝本数でそれぞれ2位と並んでいた。チーム技術ランキングでは、アタック決定率アタック決勝本数/アタック本数で2位となり、

ハイドロゲンのアタック決定率で首位だった。チーム技術ランクでは、アタック決定率アタック決勝本数/アタック本数で首位だった。

ハイドロゲンのアタック決定率アタック決勝本数/アタック本数で首位だった。

惜敗の秋3位 悔しさ糧に春は全勝で1部復帰へ

バレーボール部

関西大学バレーボール秋季リーグ

バレーボール部男子は、9-10月の関西大学秋季リーグ2部は3位で、1部昇格を逃した。個人賞では宮下翔(つばさ・スポーツ科学部1年、京都・東山高校)が新人賞を受賞した。

バレーボール部男子は、9-10月の関西大学



松永菜々夏
(体育4年、京都府立)

硬式野球部女子は、8月の全日本インカレでは準決勝で一PU環太平洋大学との延長八回タイブレークの末、3-4で敗戦。明治神宮野球場で初開催される決勝への進出を果たせず、横井光治監督は「後悔しかない」と悔やむ。

硬式野球部女子は予選リーグB組を勝ち分けで1位通過し、決勝トーナメントは1回戦で東海大学静岡キャンパスに13-4、準々決勝は尚美学園大学に延長八回タイブレークの末、3-4で敗戦。硬式野球部女子は予選リーグB組を勝ち分けで1位通過し、決勝トーナメントは1回戻り10月の全日本選手権で初戦の2回戦で福知山成美高校を5-0で降し、準々決勝では全日本クラブ選手権

無念のインカレ4強 全日本ではクラブ王者倒す

硬式野球部女子は、8月の全日本インカレでは準決勝で一PU環太平洋大学との延長八回タイブレークの末、3-4で敗戦。明治神宮野球場で初開催される決

勝への進出を果たせず、横井光治監督は「後悔しかない」と悔やむ。

硬式野球部女子は予選リーグB組を勝ち分けで1位通過し、決勝トーナメントは1回戻り10月の全日本選手権で初戦の2回戦で福知山成美高校を5-0で降し、準々決勝では全日本クラブ選手権

全日本大学女子硬式野球選手権大会

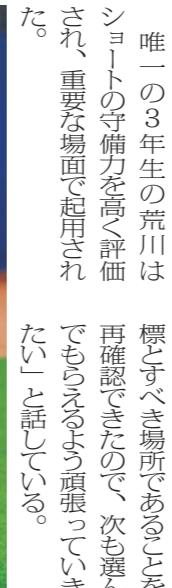


全日本大学女子硬式野球選手権大会



硬式野球部
女子

© WBSC



柏崎咲和 (体育4年、福井工業大学附屬福井)

第4回BFA女子野球アジアカップ

が10月11月、中国・杭州で行われ、日本が4連覇を果たした。侍ジャパン女子日本代表はオール大学生で編成され、大阪体育大学から最多の5人が出場し、日本代表をけん引した。

日本代表に加わったのは、エースの柏崎咲和 (かじさき、さわ) 投手 (体育学)

部4年、福井工業大学附屬福井高校、日本チーム主将の

井高校、

日本花 (じしか) 捕手

（体育学部4年、大阪・

履正社高校）、木村睦実

（むつみ）一塁手（体育

学部4年、京都兩洋高

校）、畠中ゆうあ（二塁手（体

育学部3年、埼玉・花咲徳栄

高校）、荒川莉子遊撃手（体

育学部3年、鹿児島・神村学

園高等部）と日本代表コーチ

を務めた横井光治監督（教育

学部准教授）。

日本は決勝で台湾を8-0

で降し、7戦全勝だった。

柏崎は初戦、決勝で先発

し、12回を投げて防御率0.00で勝を挙げ、最優秀選手

と最優秀防御率を獲得。フル

代表だった前回のアジアカップは最終選考で代表から漏れ、

オーストラリア留学などで自

分を鍛え直した。

畠中は19打数15安打、打率

7割8分9厘と打ちまくり、

首位打者と最多得点（12点）、

ベストナインを獲得した。8月の全日本インカレでは不調で横井監督と相談し「このままでAPANのユニホーム

を着ていいのか」と涙を流しながら復調した。

山本は正捕手として投手陣

を引いだしベストナインを獲

得するところだが、主将として

チームをまとめ、「試合を重ねる中でチームが一つになっ

た」と振り返る。

木村は打球速度、飛

距離はチームとも飛び

抜け、出場選手中2位の12打

点を挙げた。

唯一の3年生の荒川は

ショートの守備を高く評価され、重要な場面で起用され

た。

日本代表に加わったのは、エースの柏崎咲和 (かじさき、さわ) 投手 (体育学)

部4年、福井工業大学附屬福井

高校、

日本花 (じしか) 捕手

（体育学部4年、大阪・

履正社高校）、木村睦実

（むつみ）一塁手（体育

学部4年、京都兩洋高

校）、畠中ゆうあ（二塁手（体

育学部3年、埼玉・花咲徳栄

高校）、荒川莉子遊撃手（体

育学部3年、鹿児島・神村学

園高等部）と日本代表コーチ

を務めた横井光治監督（教育

学部准教授）。

日本は決勝で台湾を8-0

で降し、7戦全勝だった。

柏崎は初戦、決勝で先発

し、12回を投げて防御率0.

00で勝を挙げ、最優秀選手

と最優秀防御率を獲得。フル

代表だった前回のアジアカップは最終選考で代表から漏れ、

オーストラリア留学などで自

分を鍛え直した。

畠中は19打数15安打、打率

7割8分9厘と打ちまくり、

首位打者と最多得点（12点）、

ベストナインを獲得した。8月の全日本インカレでは不調で横井監督と相談し「このままでAPANのユニホーム

を着ていいのか」と涙を流しながら復調した。

山本は正捕手として投手陣

を引いだしベストナインを獲

得するところだが、主将として

チームをまとめ、「試合を重

ねぬ中でチームが一つになっ

た」と振り返る。

木村は打球速度、飛

距離はチームとも飛び

抜け、出場選手中2位の12打

点を挙げた。

唯一の3年生の荒川は

ショートの守備を高く評価され、重要な場面で起用され

た。

日本代表に加わったのは、エースの柏崎咲和 (かじさき、さわ) 投手 (体育学)

部4年、福井工業大学附屬福井

高校、

日本花 (じしか) 捕手

（体育学部4年、大阪・

履正社高校）、木村睦実

（むつみ）一塁手（体育

学部4年、京都兩洋高

校）、畠中ゆうあ（二塁手（体

育学部3年、埼玉・花咲徳栄

高校）、荒川莉子遊撃手（体

育学部3年、鹿児島・神村学

園高等部）と日本代表コーチ

を務めた横井光治監督（教育

学部准教授）。

日本は決勝で台湾を8-0

で降し、7戦全勝だった。

柏崎は初戦、決勝で先発

し、12回を投げて防御率0.

00で勝を挙げ、最優秀選手

と最優秀防御率を獲得。フル

代表だった前回のアジアカップは最終選考で代表から漏れ、

オーストラリア留学などで自

分を鍛え直した。

畠中は19打数15安打、打率

7割8分9厘と打ちまくり、

首位打者と最多得点（12点）、

ベストナインを獲得した。8月の全日本インカレでは不調で横井監督と相談し「このままでAPANのユニホーム

を着ていいのか」と涙を流しながら復調した。

山本は正捕手として投手陣

を引いだしベストナインを獲

得するところだが、主将として

チームをまとめ、「試合を重

ねぬ中でチームが一つになっ

た」と振り返る。

木村は打球速度、飛

距離はチームとも飛び

抜け、出場選手中2位の12打

点を挙げた。

唯一の3年生の荒川は

ショートの守備を高く評価され、重要な場面で起用され

た。

日本代表に加わったのは、エースの柏崎咲和 (かじさき、さわ) 投手 (体育学)

部4年、福井工業大学附屬福井

高校、

日本花 (じしか) 捕手

（体育学部4年、大阪・

履正社高校）、木村睦実

（むつみ）一塁手（体育

学部4年、京都兩洋高

校）、畠中ゆうあ（二塁手（体

育学部3年、埼玉・花咲徳栄

高校）、荒川莉子遊撃手（体

育学部3年、鹿児島・神村学

全日本大学女子サッカー選手権大会



サッカー部

早大の壁破り8強
泥臭く守るサッカー浸透

サッカー部女子は12月の全日本インカレ2回戦で、2年連続で敗れている早稲田大学を0-0、PK4-3で降し、ベスト8に進出した。

女子

関西第4代表の本学

福井大学(北信越第1代表)と対戦。前半15分、林寿珠里(すずり、スポーツ科学部2年、大阪桐蔭高校)がゴールを決め1-0で勝利した。

早稲田大学(関東第5代表)には2年連続して2回戦で敗れた。昨年は1-1で

迎えた後半、個人技で強烈な

ロングショートを2本決めら

れた。相手の攻力をいかに

封じるか。選手と指導者で話

し合つて臨み、試合では、前

後半とも、石居官宣監督が相

手の力を吸収して守備をや

さった。準備した通り、前線

からしっかり守備ができ、後

ろが機能したと振り返る

K相谷亜由花(あいだに)、あ

ゆか、体育学部3年、大阪桐

蔭高校)が一人目のシュート

を右に跳んで弾き飛ばし、5

人のM北原歩奈(あゆ

な、体育学部3年、山梨・日

本航空高校)がアトルを決め

て、PK4-3で勝利。相

は組み合わせが決まつてか

ら、早稲田を意識してやつて

きた。目標は日本一だが、こ

の日のために努力してきた

と感無量だった。

自分が心を取りにくくこと

にトライした年だったが、そ

こはやり切った感がある」と

準々決勝では、東京国際大

振り返った。

2年連続ベスト8
チーム挙げて協同、育成で好循環

全日本大学サッカー選手権大会

サッカー部男子は全日本インカレで2年連続してベスト8に進出した。予選ラウンド(プレーオフ)で前進優勝の新潟医療福祉大学に勝利、決勝ラウンドでも関西学生リーグ覇者の関西学院大学を降して1位通過するなど、鮮烈な印象を残した。

サッカー部男子は全日本インカレで2年連続してベスト8に進出した。予選ラウンド(プレーオフ)で前進優勝の新潟医療福祉大学に勝利、決勝ラウンドでも関西学生リーグ覇者の関西学院大学を降して1位通過するなど、鮮烈な印象を残した。

男子

新潟医療福祉大学(北信越地区第1代

校)が相手5人目のショート

を見事にセーブし、PK5-4で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第1節は高

大(四国地区代表)と0-0引き分け。続く第2節の

仙台大学(東北地区第1代

表)戦では、MF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

うま(体育学部4年、静岡・

藤枝明誠高校)の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

大学(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第2節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(関西地区第1代

表)戦では、前半にMF三島

典征(てんせい)、スポーツ科

佐野竜真(さのりゅうま)(

体育学部4年、広島県瀬戸内

の先制点を皮

切りにゴールを重ね、6-0

で勝利をつか取った。

決勝ラウンド第2節は高

大(四国地区代表)と0-0

で引き分け。続く第3節の

西学院大学(